

教 育 委 員 会 資 料

2022 年（令和 4 年）8 月 9 日

教育委員会事務局 児童生徒支援課

みんなが選べる明石の制服を考える会 意見交換（活動）のまとめ

令和 4 年 7 月

みんなが選べる明石の制服を考える会

はじめに

近年、中学校における制服について、価値観や性のとらえ方が多様化する中、全国的にもそのあり方が問われる状況となっています。

本市においても、現在、市内13中学校それぞれが「詰め襟学生服」、「セーラー服」、「ブレザー」など、独自のデザインの制服を採用していますが、場合によっては、生徒の思いに十分に対応できていない状況が起こっています。

そこで、生徒が現在の制服に加え、選択肢の一つとして選ぶことができる「みんなが選べる明石の制服」（以下「明石の制服」）を導入することが、ひとつの対応方法であると考えられることから、本会においては、「明石の制服」としてどういったものがふさわしいかについて意見交換等をおこないました。

本会の活動が、すべての生徒がそれぞれの個性を尊重し、快適に、自分らしく学校生活を送るための一助となることを切に希望するものです。

1 本会の活動(開催状況)について

- 令和4年2月 準備会発足
制服に関する基礎的アンケートの実施
- 令和4年4月 「みんなが選べる明石の制服を考える会」発足
- 令和4年5月 「第1回みんなが選べる明石の制服を考える会」開催(5月16日)
- 令和4年6月 「第2回みんなが選べる明石の制服を考える会」開催(6月14日)
- 令和4年7月 制服に関するアンケート実施・集計
「第3回みんなが選べる明石の制服を考える会」開催(7月25日)
- 意見交換(活動)のまとめ

① 制服に関する基礎的アンケートの実施 **資料1 基礎的アンケートの結果**

生徒とその保護者、ならびに中学校教諭が、現在の中学校制服についてどのような印象を持っているのか、また、どのような制服を望んでいるのかなどを聞き、明石の制服を考えるにあたって参考とするためのアンケートを実施しました。

その結果、現在の制服については、約半数が可もなく不可もないと感じている一方、約4分の1は、不満を感じているという結果が得られました。また、制服について重視する点については、着心地や動きやすさといった「機能性」が上位となり、スタイルとしては「ブレザー型」、基本となる色については「紺」、「濃紺」がそれぞれ上位となりました。

② 「第1回みんなが選べる明石の制服を考える会」 **資料2 第1回議事要旨**

本市の中学校における制服の現状の把握と「明石の制服」を導入する目的などについて意見交換をおこないました。特に近年、スラックスを希望する女子の数が増加している状況や、生徒の制服に対する意識が徐々に変化しつつあることなどについて確認しました。また、子どもたちが「居心地のいい、快適で自分らしい学校生活を送る」ための「明石の制服」について意見交換をおこな

っていくという目的について確認しました。

そして、基礎的アンケートの分析をおこない、「明石の制服」としてどういったものがふさわしいかについて、中学生にも参加してもらいながら、意見交換をおこないました。

③ 第2回みんなが選べる明石の制服を考える会 **資料3 第2回議事要旨**

前回の意見交換を踏まえ、事務局より、明石の制服として考えられるパターンとして、Aタイプ（濃紺、スーツスタイル、2つボタン、男女の体形の差を想定したゆったり型とすっきり型の設定あり）、Bタイプ（濃紺、ブレザースタイル、2つボタン、男女兼用ゆったり型、スラックス・スカートは紺色のチェック柄）、Cタイプ（紺、ブレザースタイル、3つボタン、男女の体形の差を想定したゆったり型とすっきり型の設定あり、スラックス・スカートはグレーのチェック柄）、Dタイプ（紺、ブレザースタイル、ウールを含まない素材、市立朝霧中学校で採用）の4種類が示されました。

A、B、C、Dのそれぞれのパターンについて、実際に中学生に試着してもらいながら、意見交換をおこないました。

意見を踏まえて、修正を加え、最終的に下記の3つのパターンについて、アンケートを実施することとしました。

【A・B・C共通事項】

- ・上着は「濃紺色」。
- ・リボン、ネクタイ等の設定はなし。
- ・シャツは、特定のことを指定しない。
- ・ウールの混率は指定しない。
- ・すべて2つボタンで前合わせは左右どちらでも可能。
- ・家庭で洗濯が可能。

【A:スーツ型】

- ・上下の色が同じシンプルなスーツスタイル
- ・ジャケット、スラックスに「ぴったりタイプ」と「ゆったりタイプ」を設定

【B:ブレザー型①】

- ・上下の色が違うブレザースタイル
- ・ジャケットは、男女兼用で「ゆったりタイプ」を設定
- ・スラックス、スカートは、「紺色のチェック柄」を設定

【C:ブレザー型②】

- ・上下の色が違うブレザースタイル
- ・ジャケットは、男女兼用で「ゆったりタイプ」を設定
- ・スラックス、スカートは、「グレー（灰色）のチェック柄」を設定

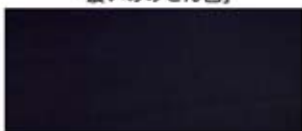
<A:スーツ型>



【素材サンプル（色・柄）】
上着（ジャケット、ブレザー）
A・B・C共通
「濃いめのこん色」



A（スラックス、スカート）
「濃いめのこん色」



<B:ブレザー型①>



【素材サンプル（色・柄）】
上着（ジャケット、ブレザー）
A・B・C共通
「濃いめのこん色」



B（スラックス、スカート）
「こん色のチェック柄」



<C:ブレザー型②>



【素材サンプル（色・柄）】
上着（ジャケット、ブレザー）
A・B・C共通
「濃いめのこん色」



C（スラックス、スカート）
「グレー（灰色）のチェック柄」



④ 制服に関するアンケート実施・集計 **資料4 アンケート結果**

「みんなが選べる明石の制服として、A・B・Cのどのタイプがふさわしいと思いますか。」という設問に対して、

児童生徒（A. 24% B. 36% C. 40%）

保護者（A. 13% B. 52% C. 35%）

教職員（A. 20% B. 47% C. 33%）

全体として（A. 17% B. 46% C. 37%）

という結果となりました。

また、「あなたが選んだタイプの制服を着て、登校したいと思いますか。」
という児童生徒に対する質問では、
(思う. 67% 思わない. 7% どちらとも言えない. 26%)
という結果となりました。

また、「現在の中学校制服と同価格とした場合、明石の制服を購入したいと思いますか。」という保護者に対する質問では、
(思う. 43% 思わない. 18% どちらとも言えない. 39%)
という結果となりました。

⑤ 「第3回みんなが選べる明石の制服を考える会」

今までの意見交換の内容やアンケート結果を踏まえ、会として意見交換（活動）をどのようにまとめるかについて話し合いをおこないました。

⑥ 意見交換(活動)のまとめ

※別に記載

2 意見交換(活動)のまとめ

本会は、保護者、学校長、教職員、制服メーカー、学識経験者、市職員、そして当事者である中学生をもって構成され「明石の制服」としてどのようなものがふさわしいかについて意見交換等をおこなってきました。

まずは前提として、市内中学校の制服の現状について確認するとともに、本会に先駆けて実施した制服に関する基礎的アンケートの分析により、明石のこどもたちの制服に対する意識の変化やそのニーズ（思い）の把握に努めました、現在、各学校では、制服に対する相談には個別に対応をおこなっている状況ですが、残念ながら、すべての生徒の思いに応えきれていません。また、昨今の多様性を認め、ジェンダー平等を実現しようという社会全体の潮流はあるものの、同じ学校内で異なる制服を着ている状況に生徒たちが違和感がないか、かえって特定の人排除されることにつながらないか等の懸念がありました。しかしながら、意見交換の過程で当事者である生徒たちから「違う制服の子がいても違和感を感じないし、その人が着たい制服を着ているのであれば良い」「違いはあっても良いし、その違いを認めていくことも大切」といった発言があり、大人の側

がその思いに応え、新たな一步を踏み出すタイミングに来ていることを実感させられました。

そのような状況を踏まえ、本会としては、こどもたちが居心地のいい、快適で自分らしい学校生活を送るためのひとつの方策として、明石の学校に通うすべてのこどもが自分の意思で容易に選択することができる「明石の制服」を導入することが望ましいと考えました。

そして、具体的に明石の制服としてふさわしいものを考えていくうえで、求められる要件などについて、意見交換をおこないました。制服のスタイルとしては、ジャケット、スラックスといった性差の出にくいデザインであること、生徒の意見を踏まえ、着心地が良く、「着替えやすさ」、「動きやすさ」等の機能性を備えていること、保護者の意見を踏まえ、家庭で洗濯が可能であり、価格的に低廉なものが望ましいことなどの意見がありました。

第2回の会議では、以上の意見を反映させた制服案としてタイプ別のサンプル品を用意し、実際に中学生に試着をしてもらいながら意見交換をおこないました。そのうえで、最終的なアンケートの候補として前述の3つのタイプ（Aタイプ、Bタイプ、Cタイプ）に絞りました。

児童生徒、保護者、教職員を対象にアンケートを実施し、「明石の制服」としてふさわしいものとして、児童生徒はCタイプ、保護者と教職員はBタイプが上位という結果となりました。

以上のような経緯を踏まえ、本会として、下記の事項を明石市教育委員会に要望し、意見交換（活動）のまとめといたします。

- 1 「みんなが選べる明石の制服」は、すべての生徒が快適に、自分らしく学校生活を送るために、自由な意思により選択できるものであり、その位置づけについて、児童生徒や保護者が十分に理解できるよう、学校は丁寧に説明すること。
- 2 「みんなが選べる明石の制服」のデザインとして、児童生徒の意見を最大限尊重する意味から、Cタイプ（※別記 濃紺の男女兼用ブレザー、濃いグレーのチェック柄のスラックス・スカート）を採用すること。
- 3 価格については、仕様を工夫することなどにより、できる限り低廉で保護者の負担軽減となるように努めること。

- 4 「みんなが選べる明石の制服」の導入についての情報発信を積極的におこない、学校のみならず、教育委員会としても、子どもたちや保護者に対して、相談対応をおこなっていくこと。

- 5 「みんなが選べる明石の制服」の導入に向けた今後の取組についても引き続き、子どもたちや保護者の意見に耳を傾け、その思いを尊重しつつ進めていくこと。

みんなが選べる明石の制服を考える会会員名簿

(会員)

名 前	所 属 団 体 等
中学生	朝霧中学校生徒
中学生	大蔵中学校生徒
中学生	魚住中学校生徒
中学生	二見中学校生徒
尾崎 公子	兵庫県立大学 教授
神足 豊光	連合PTA顧問
百田 真紀	大久保中学校PTA
金井 有一郎	中崎小学校長
山田 祥千子	衣川中学校長
越智 雄士	大蔵中学校教諭
芝野 久美子	大久保北中学校養護教諭
栗岡 洋	兵庫菅公学生服(株) ※準備会会長
箕作 美幸	政策局ジェンダー平等推進部長
増原 裕子	ジェンダー平等推進室主任

(事務局)

名 前	所 属 団 体 等
小和 喜樹	児童生徒支援課 課長
長尾 正延	青少年育成センター 所長
有年 麻美	教育企画室 法務担当課長
公文 将司	児童生徒支援課 係長